

| 報告事項 | | 内 容 | |
|---------|------------------------------------|---|--|
| 被監査事業所名 | | ちばアフターケアネットワークステーション CANS(児童養護施設退所児童等アフターケア事業) | |
| 監査実施日 | | 2017年 10月 31日 (火) 10:00 ~ 11:30 | |
| 監査結果 | | <p>< 監査人の総評 ></p> <p>・新規事業でKAZEGRAMもなく、管理者＝支援ワーカー1名という事業所だが、支援対象者との関係性を構築し、支援をスムーズに行なうために、創意工夫と模索を続けている。県内で唯一の事業所であり、当該事業者同士の研修が県内で受けられないが、他県の同業種の方と連携し、積極的に研修を受け、自己研鑽している点が好印象だった。事業所自体は適切に運営されていると感じた。</p> | |
| | | <p>< 被監査事業所のコメント ></p> <p>・今後も、県外事業所と連携し、ひとつひとつのケースワークを積み重ね、スキルアップしたい。</p> | |
| 監査項目 | | 監査人 | 被監査事業所 ちばアフターケアネットワークステーション CANS |
| 大項目 | 中項目 | 【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】 | 【回答 改善策(期日)】 |
| | 「アフターケア事業CANS相談受付マニュアル」に基づいて監査を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務所の配置上、来訪者がいる時に書庫を開閉すると、ケース用の個人ファイルが来訪者の目に触れるため、氏名は背表紙には書かず、ファイルの表紙側に貼るなど、個人情報保護のための工夫が見られた。 ・支援員＝管理者1名という事業所ではあるが、関係機関との連携等が必要となるという前提に立ち、マニュアルに基づき、すべてきちんと記録に残している。 ・社会的養護施設等を出た後の支援という事業特性上、当事者からすると突然できた関係性になりがちなので、施設に在るうちに、少ない回数でも当事者と顔を合わせる機会を自ら作り出し、関係性構築に取り組んでいる。 ・退所児童 アフターケアの事業所としては県内に1か所しかいないため、児童支援の分野の仲間と繋がるため、市外、県外の研修会等に顔を出し、同時に自己研鑽に取り組んでいる。 ・法人職員が同事業所にKAZEGRAM等の法人独自の活動等への理解と取り組みが浅い。 ・KAZEGRAMが未作成。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2018年3月で本格的な運営開始から1年が経過するため、4月に業務を振り返り6月末の完成を目指します。 |